

# グローバル・フィンテック株式ファンド (為替ヘッジあり・年2回決算型)

設定日：2017年9月15日

償還日：無期限

決算日：原則、毎年6月、12月の各7日

収益分配：決算日毎

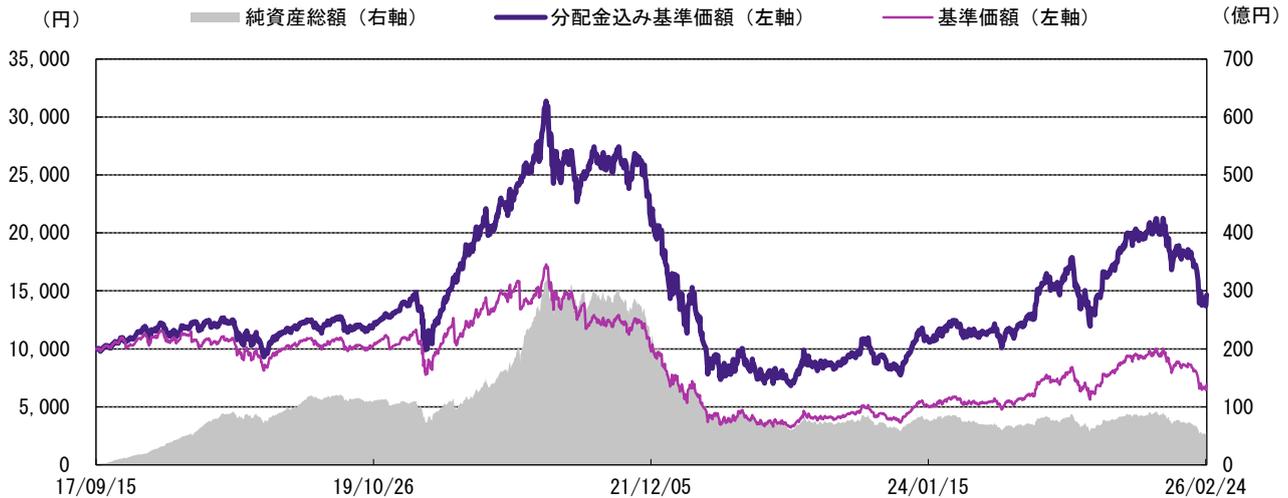
基準価額：6,892円

純資産総額：56.80億円

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。  
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。  
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

## 運用実績

＜基準価額の推移グラフ＞



※分配金込み基準価額の推移は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものととして計算した理論上のものである点にご留意ください。  
 ※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。

### ＜資産構成比＞

株式	97.5%
うち先物	0.0%
現金その他	2.5%

※マザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率で、対純資産総額比です。

### ＜基準価額騰落の要因分解＞

前月末基準価額	7,877円
要 株式	-945円
為替など（ヘッジコスト等）	-29円
因 分配金・その他	-11円
当月末基準価額	6,892円

※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

### ＜分配金実績（税引前）＞

分配金合計	23・12・7	24・6・7	24・12・9	25・6・9	25・12・8
9,200円	0円	0円	0円	0円	0円

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。  
 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

### ＜基準価額の騰落率＞

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
-12.50%	-19.51%	-26.57%	-4.06%	72.73%	46.38%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものととして計算した理論上のものである点にご留意ください。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



## ポートフォリオの内容

※下記データはマザーファンドの状況です。比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

## &lt;通貨別組入上位10通貨&gt;

通貨	比率
アメリカドル	91.8%
ユーロ	3.3%
日本円	2.8%
南アフリカランド	0.3%
香港ドル	0.2%

## &lt;国・地域別組入上位10カ国&gt;

国・地域名	比率
アメリカ	67.2%
カナダ	9.4%
ケイマン諸島	5.4%
オランダ	3.3%
日本	2.8%
香港	2.0%
イスラエル	1.8%
シンガポール	1.4%
ルクセンブルグ	1.3%
イギリス	1.2%

## &lt;業種別組入上位10業種&gt;

業種	比率
金融サービス	36.9%
ソフトウェア・サービス	22.5%
メディア・娯楽	11.6%
一般消費財・サービス流通	9.6%
半導体・半導体製造装置	6.7%
消費者サービス	6.3%
銀行	3.4%
不動産管理・開発	0.9%
保険	0.3%
医薬品・バイオテクノロジー	0.2%

## &lt;組入上位10銘柄&gt; (銘柄数：40銘柄)

	銘柄名	通貨	国・地域名	業種	比率
1	SHOPIFY INC - CLASS A	アメリカドル	カナダ	ソフトウェア・サービス	9.4%
2	ROBINHOOD MARKETS INC - A	アメリカドル	アメリカ	金融サービス	8.6%
3	COINBASE GLOBAL INC -CLASS A	アメリカドル	アメリカ	金融サービス	5.2%
4	CIRCLE INTERNET GROUP INC	アメリカドル	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.9%
5	PALANTIR TECHNOLOGIES INC-A	アメリカドル	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.6%
6	ADVANCED MICRO DEVICES	アメリカドル	アメリカ	半導体・半導体製造装置	4.4%
7	TOAST INC-CLASS A	アメリカドル	アメリカ	金融サービス	4.3%
8	BLOCK INC	アメリカドル	アメリカ	金融サービス	4.0%
9	MERCADOLIBRE INC	アメリカドル	アメリカ	一般消費財・サービス流通	3.8%
10	NU HOLDINGS LTD/CAYMAN ISL-A	アメリカドル	ケイマン諸島	銀行	3.4%

※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。

※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



## 運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。  
 ※ファンドにおける各銘柄の保有比率は、投資行動だけではなく当該銘柄の株価変動等によっても変化するため、買い増しや一部売却をした場合に、当該銘柄の保有比率の変動の方向性が一致しない場合があります。例えば、買い増した銘柄の保有比率が前月末と比較して低下している場合や、一部売却した銘柄の保有比率が前月末と比較して上昇している場合があります。

## ◎市場環境

2月の主要株式市場は、欧州中央銀行（ECB）による緩和的金融環境が継続するとの見方や、日本の政治的安定と追加的な財政支援への期待が高まったことなどから、欧州やアジアの株式市場が牽引役となり、小幅に上昇しました。為替市場では、円相場は対ドルで円安ドル高となり、円ベースでは、より大きな上昇となりました。セクター別では、公益、生活必需品、エネルギーなどのセクターが相対的に好調となる一方、コミュニケーション・サービス、一般消費財・サービス、情報技術などのセクターは出遅れました。

当ファンドでは、破壊的イノベーション株式は単に回復しているだけでなく、再評価されている段階にあると考えています。暗号資産、人工知能（AI）、医療分野などにおける政策変更や、予算調整措置法案における減価償却軽減措置などの財政措置に支えられ、構造的な追い風が形成されつつあり、これらは米国の競争力を高め、外国投資を誘致する可能性があります。米国のトランプ大統領の成長重視政策、そしてAI、ロボット工学、エネルギー貯蔵、マルチオミクスにおける画期的な進歩と相まって、これらの力は生産性とイノベーション主導の成長の新たな波を引き起こす可能性があります。

## ◎運用概況

当月の基準価額は、前月末比で下落しました。

個別銘柄では、良好な四半期決算発表後に株価が上昇したサークル・インターネット・グループ（ソフトウェア・サービス）が、プラス寄与上位となりました。USDC（米ドルに連動するステーブルコイン）の流通取引高やオンチェーン取引高（ブロックチェーン上での取引高）の拡大により、準備金収益の増加やUSDCの実用性向上を実現しました。AI（人工知能）エージェントにおけるUSDCの採用拡大や、ステーブルコインの送金額の拡大なども追い風になりました。Etoro Group（金融サービス）も、良好な四半期決算発表を受けて上昇しました。エアビーアンドビー（消費者サービス）は、四半期決算において、グローバルの予約額（GBV）や売上高が増加して市場予想を上回るなど良好な内容を発表したことが、株価上昇につながりました。経営陣は、「Reserve Now, Pay Later（今すぐ予約、後払い）」での成功を強調しており、GBVの伸びや1日当たりの平均客室単価（ADR）にとっても追い風となりました。Bullish（金融サービス）も、好調な四半期決算が好感されました。調整後売上高が過去最高を記録し、EBITDAマージンも大きく拡大したほか、市場のボラティリティ（変動性）が高い環境下でも、同社が提供する取引所やオプション事業は成長しました。また、機関投資家による採用拡大や米国での豊富な顧客パイプラインなどを背景に、長期的な成長軌道に対する同社の自信が裏付けられています。ディスカバリー（保険）は、南アフリカの金融機関や保険会社に対する投資家心理が改善するなかプラスに寄与しました。

一方、ロビンフッド・マーケット（金融サービス）は、純収益が前年同期比で好調な伸びを示すなど堅調な四半期決算を発表しましたが、暗号資産の全般的な下落に連れ安となりマイナスに寄与しました。ショッピング（ソフトウェア・サービス）は、四半期決算において流通取引総額（GMV）や売上高が前年同期比で増加して市場予想を上回ったものの、SaaS銘柄の全般的な下落が株価の重石となりました。メルカドリプル（一般消費財・サービス流通・小売）は、四半期決算発表後に下落しました。前年同期比で増収となった一方で、経営陣の判断による主要な長期成長機会への投資が営業利益を押し下げたことが嫌気されました。アドバンスト・マイクロ・デバイセズ（半導体・半導体製造装置）は、四半期決算においてデータセンターおよびゲーム分野などの事業セグメントが前年同期比で増収となるなど良好な結果となりましたが、株価は下落しました。2026年第3四半期までにラックスケール・ソリューションを出荷する計画は引き続き順調に進んでいるものの、データセンター向けAI分野における投資がより明確な成果としてあらわれるまでは、投資家の慎重姿勢が続くとみられます。アディエン（金融サービス）は、決算発表の内容が市場予想を下回り株価が急落しました。経営陣は2028年までにEBITDAマージンは拡大するとの見方を示しましたが、米国および世界のテクノロジーハブにおける人員増強を進めていることから、短期的なマージンは2025年の水準と概ね同程度で推移するとみられます。

当月の投資行動としては、Canton Strategic Holdings（医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス）を新規に組み入れました。同社が支援するエコシステムは、プライバシー機能を備えた機関投資家向けのブロックチェーンで、伝統的な金融資産を、トークン化された実世界資産やマネー・マーケット・ファンドなどにします。トークン化やステーブルコインの普及が進むなか、大きな恩恵を受ける可能性があるかとみています。最近ではデジタル資産インフラを提供するプラットフォームの保管・決済のサポートに活用されているほか、決済インフラを提供するDTCCが傘下のDTCで保管する米国債を同社のネットワーク上でトークン化するなど、実務レベルでの導入が進んでいます。また、チェーンリンクとの連携によって、価格情報などの外部データの取り込みや他のシステムとの相互接続が可能になっています。加えて、資産運用会社によるトークン化ファンドの実証実験が進んでおり、規制に対応し、プライバシーを確保したオンチェーン金融が、大手機関投資家にとって現実的なものとなりつつあります。

一方、インテュイット（ソフトウェア・サービス）の保有を解消しました。SaaSセクターが低調なことや新興AIプラットフォームの台頭を受けて、同社の会計ソフトウェアの競争優位性に対する懸念が高まっていると判断しました。消費者分野については、AIを活用した金融アシスタント製品を提供する別の銘柄に対してより高い確信を持っています。サファリコム（電気通信サービス）の保有も解消しました。中核のケニア事業の業績が好調な一方で、エチオピア事業の拡大が想定より遅れており連結業績の重石となっています。同事業は少なくとも2027年度までは黒字化に至らない見込みです。加えて、新興国のマクロ環境が不透明であることから、当ファンドではより魅力的なフィンテック分野の投資機会を探しています。

**投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。**

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



## 運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。  
※ファンドにおける各銘柄の保有比率は、投資行動だけではなく当該銘柄の株価変動等によっても変化するため、買い増しや一部売却をした場合に、当該銘柄の保有比率の変動の方向性が一致しない場合があります。例えば、買い増した銘柄の保有比率が前月末と比較して低下している場合や、一部売却した銘柄の保有比率が前月末と比較して上昇している場合があります。

## ◎今後の見通し

テクノロジーによって実現した技術革新や費用曲線の低下に伴う特定のデフレ要因は、今後3年から5年の間にフィンテック企業の単位成長率や、生産性、収益性を押し上げると考えられます。特に、モバイル決済・機器、人工知能（AI）、クラウド、ブロックチェーン技術などに基づく戦略により、フィンテック企業はますますその恩恵を受けることになるでしょう。なかでも特に、デジタル・ウォレット（モバイル決済）サービスは単なる支払機能を越えた変革をもたらしつつあります。米国で数千万人、世界で数十億人のユーザーが利用するデジタル・ウォレットは、資産管理、保険、銀行、個人融資、クレジットカードなどの融資手段、暗号資産や関連商品へのアクセスなどの様々な金融サービスのゲートウェイとなりつつあります。低い顧客獲得コストや独自データを備え、そしてクロス・セリング（組合せ販売）の機会に富むことから、投資家は従来の銀行サービスをしのぐプレミアムでこれを評価するとみられます。

その結果、価格交渉力や預貸利ざやといった旧来のビジネス形態に依存する従来型金融サービスの多くは、過去10年の間に実店舗を主力とする従来型小売がネット販売に押されたのと同様にバリュー・トラップ（割安株が割安のまま放置され期待リターンが得られにくくなる）に陥る可能性があります。また、これらの革新的なテクノロジーによる生産効率の向上によりインフレ率は予想より低位で推移すると考えられ、長期金利は過去水準まで上昇しない可能性があります。

当ファンドは、金融サービスとテクノロジーの融合を活かし、グローバル経済におけるあらゆる取引や価格移転に影響を与える銘柄を選好していく方針です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



ご参考情報

※「組入上位10銘柄の銘柄概要」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。※記載の見解等は、アーク社等による作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

<組入上位10銘柄の銘柄概要>

<p><b>1 SHOPIFY INC - CLASS A / ショップファイ</b>                  ショップファイは、商取引プラットフォームと実際の店舗において、販売業者が消費者に直接商品やサービスを提供できるような技術を提供している。また、金融サービスと独自の決済方法であるShopPayも提供する。将来、より多くの金融サービスを販売業者や消費者に提供する可能性がある。</p>
<p><b>2 ROBINHOOD MARKETS INC - A / ロビンフッド・マーケット</b>                  アプリベースのオンライン証券会社で、投資家が無料で株式や暗号資産の取引を行うことができる。個人投資家にとって革新的なサービスであり、高いブランド力を構築し、新たな顧客を速いペースで獲得している。顧客基盤をもとに、暗号資産など新たな金融商品を販売することが可能である。</p>
<p><b>3 COINBASE GLOBAL INC -CLASS A / コインベース・グローバル</b>                  暗号資産の規制企業で2012年に設立。最も信頼される暗号資産取引所の1つである。同社は暗号資産に関連する各種サービスを提供していることから、市場の拡大と連動して成長することができると見られる。</p>
<p><b>4 CIRCLE INTERNET GROUP INC / サークル・インターネット・グループ</b>                  金融テクノロジーソリューション企業。完全に準備金で裏付けられた米ドル連動型ステーブルコイン「USDCoin (USDC)」の主要な発行体。ブロックチェーン技術を活用したシームレスな資金移動インフラを提供し、企業、開発者、金融機関が信頼性の高いデジタルドル基盤上で、取引、決済、アプリケーション構築を行う環境を提供。</p>
<p><b>5 PALANTIR TECHNOLOGIES INC-A / パランティア・テクノロジー</b>                  情報分析ソフトウェアを開発するソフトウェア開発会社で世界各地で事業を展開。政府機関や大企業向けにデータ統合とアナリティクスを提供。</p>
<p><b>6 ADVANCED MICRO DEVICES / アドバンスト・マイクロ・デバイゼス</b>                  半導体メーカー。企業および個人向けに、マイクロプロセッサ、埋め込みマイクロプロセッサ、チップセット、グラフィクス、動画、マルチメディア製品および関連技術の提供を行う。</p>
<p><b>7 TOAST INC-CLASS A / トースト</b>                  米国とアイルランドでレストラン業界向けのフィンテックプラットフォームを運営する。顧客がモバイルで注文・支払いができるなど、レストランの事業の改善、売上強化、顧客体験の向上を支援する様々なソフトウェアシステムを設計・開発している。</p>
<p><b>8 BLOCK INC / ブロック</b>                  同社の総合的な決済ソリューション・プラットフォームにおいて、革新的なモバイル決済ハードウェアを提供することで、決済市場において確固たる地位を有している。同社が入手した膨大な取引データに基づいて、顧客に対して追加的なサービスを提供するなど、新たなニーズを開拓している。</p>
<p><b>9 MERCADOLIBRE INC / メルカドリブレ</b>                  オンライン取引会社。南米市場向けオンライン取引ウェブサイト「メルカドリブレ・マーケットプレイス」を運営する。同社のウェブサイトでは、ビジネスおよび個人による品物の掲載と固定価格または入札形式での販売が可能。さらに、オンライン決済サービス「メルカドパゴ」やオンライン広告プログラムなどを提供。</p>
<p><b>10 NU HOLDINGS LTD/CAYMAN ISL-A / ノー・ホールディングス</b>                  ラテンアメリカでデジタル銀行を展開する金融テクノロジー企業。個人および中小企業向けに、ローン、クレジットカード、普通預金口座などのサービスを提供。特に金融サービスへのアクセスが十分でない層に注力しています。製品ラインアップは、支出管理、貯蓄、投資ソリューション、借入、保護ソリューションの5つの主要分野を網羅します。</p>

<カテゴリ別比率>

フィンテック カテゴリ	比率
フィンテックで新たなビジネスを創出	22.1%
決済イノベーション	19.9%
その他	19.9%
リスク分析/セキュリティ管理	16.9%
レンディング/資金調達	12.2%
ブロックチェーン	8.9%

※「フィンテック カテゴリ」はアーク社が考える分類です。

<規模別構成比率>

時価総額	比率
超大型株 (500億米ドル以上)	51.7%
大型株 (100億米ドル以上500億米ドル未満)	38.4%
中型株 (20億米ドル以上100億米ドル未満)	8.5%
小型株 (20億米ドル未満)	1.3%

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



## ご参考情報

ファクトセット・グローバル・フィンテック・インデックス  
(配当込み、円ヘッジあり、円ベース)

※上記グラフの指数は当ファンドのベンチマークではありません。

※ファクトセット・グローバル・フィンテック・インデックス（配当込み、円ヘッジあり、円ベース）は、ファクトセット社が開発した、世界のフィンテック関連企業の株式で構成された指数です。

※上記グラフは、当ファンドの設定時を100として作成日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

※ファクトセット・グローバル・フィンテック・インデックス（配当込み、円ヘッジあり、円ベース）は、当ファンドの参考指数です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



## ファンドの特色



## 1 世界の株式の中から主にフィンテック関連企業の株式などに投資します。

- 今後の成長が期待されるフィンテック関連企業の株式(預託証券を含みます。)を中心に投資を行なうことにより、中長期的な信託財産の成長をめざします。
- 外貨建資産の投資にあたっては、原則として、為替ヘッジを行ないます。なお、合理的と判断される場合には、対象資産の通貨と異なる通貨で為替ヘッジを行なうことがあります。
  - ※ 為替ヘッジによって為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行なう際、対象通貨の短期金利より円の短期金利が低い場合には、為替ヘッジコストがかかります。また、対象資産の通貨と異なる通貨で為替ヘッジを行なった場合には、各通貨の値動きが異なることから、十分な為替ヘッジ効果が得られないことがあります。



## 2 個別銘柄の選定において、アーク社の調査力を活用します。

- イノベーションにフォーカスした調査に強みを持つ、米国のアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー(アーク社)からの助言をもとに、アモーヴァ・アセットマネジメント・アメリカズインクがポートフォリオを構築します。



## 3 年2回、決算を行ないます。基準価額水準が1万円(1万口当たり)を超えている場合には、分配対象額の範囲内で積極的に分配を行ないます。

- 毎年6月7日、12月7日(休業日の場合は翌営業日)を決算日とします。
  - ※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。
  - ※ 市況動向および資金動向などにより、上記のような運用ができない場合があります。

## フィンテックとは

- フィンテック(FinTech)とは金融(Finance)と技術(Technology)を組み合わせた造語で、最新の情報技術を活用した「新たな金融サービス」のことを言います。
- フィンテックはスマートフォンのアプリなどを通じた金融サービスを中心に急成長しており、その利便性の高さから「私たちの生活を一変させるイノベーション」として注目されています。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■ 当資料は、投資者の皆様にご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



**■お申込みメモ**

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	無期限（2017年9月15日設定）
決算日	毎年6月7日、12月7日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 基準価額水準が1万円（1万口当たり）を超えている場合には、分配対象額の範囲内で積極的に分配を行ないます。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度（NISA）の適用対象となります。 ※当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

**■手数料等の概要**

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し3.85%（税抜3.5%）以内 ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
<信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用>	
運用管理費用（信託報酬）	ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.925%（税抜1.75%）
その他の費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、監査費用、運用において利用する指数の標章使用料などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。</u>  組入有望証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息、立替金の利息および貸付有望証券関連報酬（有望証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品賃料に0.55（税抜0.5）を乗じて得た額）などがその都度、信託財産から支払われます。  ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。 ※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。 ※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

**■委託会社、その他関係法人**

委託会社	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
投資顧問会社	アモーヴァ・アセットマネジメント・アメリカズインク
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕 <a href="http://www.amova-am.com">www.amova-am.com</a> 〔コールセンター〕 0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

## ■お申込みに際しての留意事項

## ○リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

## 価格変動リスク

- ・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・新興国の株式は先進国の株式に比べて、また中小型株式は株式市場全体の平均に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

## 流動性リスク

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の株式は先進国の株式に比べて、また中小型株式は株式市場全体の平均に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

## 信用リスク

- ・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

## 為替変動リスク

- ・外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。対象資産の通貨と異なる通貨で為替ヘッジを行なった場合には、各通貨の値動きが異なることから、十分な為替ヘッジ効果が得られないことがあります。なお、為替ヘッジを行なうにあたっては、円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低い場合、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。為替および金利の動向によっては、為替ヘッジに伴うヘッジコストが予想以上に発生する場合があります。

## カントリー・リスク

- ・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

## 有価証券の貸付などにおけるリスク

- ・有価証券の貸付行為などにおいては、取引相手先リスク（取引の相手方の倒産などにより貸付契約が不履行になったり、契約が解除されたりするリスク）を伴ない、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。貸付契約が不履行や契約解除の事態を受けて、貸付契約に基づく担保金を用いて清算手続きを行なう場合においても、買戻しを行なう際に、市場の時価変動などにより調達コストが担保金を上回る可能性もあり、不足金額をファンドが負担することにより、その結果ファンドに損害が発生する恐れがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

データは2026年2月27日現在

○その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・フィンテック株式ファンド（為替ヘッジあり・年2回決算型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は **アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社**  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号  
 加入協会：一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3283号	○	○		○
株式会社あいち銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第12号	○		○	
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長（登金）第633号	○			
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券) (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○		○	
岡三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第53号	○	○	○	○
岡地証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第5号	○	○		
株式会社熊本銀行	登録金融機関 九州財務局長（登金）第6号	○			
Jトラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第35号	○	○		
株式会社十八親和銀行	登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第3号	○			
十六T T証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第188号	○			
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第170号	○	○		
株式会社筑邦銀行	登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第5号	○			
東海東京証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第140号	○	○	○	○
西日本シティT T証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長（金商）第75号	○			
野村証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第142号	○	○	○	○
浜銀T T証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1977号	○			
株式会社福岡銀行	登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第7号	○		○	
P a y P a y銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長（登金）第624号	○		○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
丸三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第167号	○	○		
株式会社三井住友銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第54号	○		○	○
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行 (委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長（登金）第5号	○		○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長（登金）第33号	○	○	○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2336号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。  
 ※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。